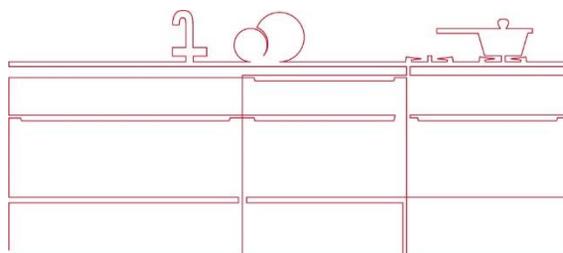


Kitchen Annual Report  
**キッチン白書® 2021**

キッチン空間の役割探索調査  
30～40代子育て世代編



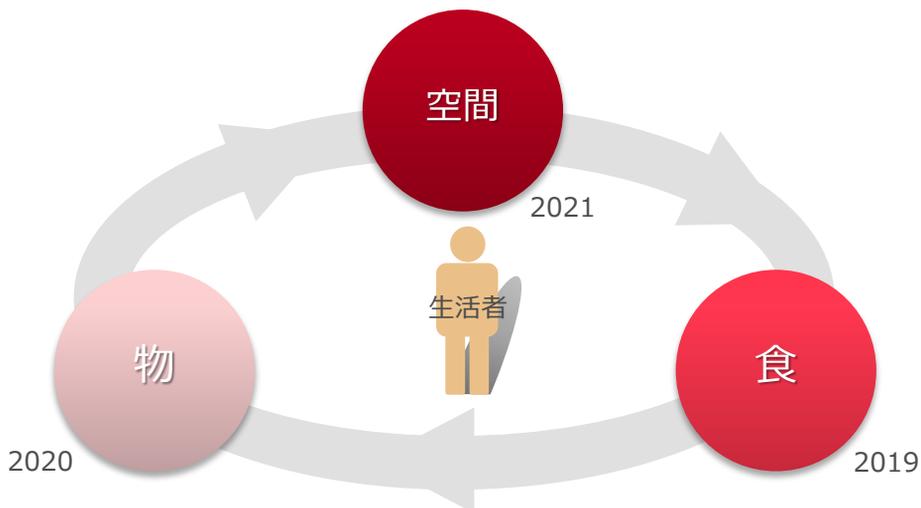
**クリナップ®株式会社**  
おいしい暮らし研究所®

<b>1. はじめに</b>	3
<b>2. 調査概要</b>	4
<b>3. 子育て世代のキッチン空間</b>	
-あなたにとってキッチン空間とは	5
-気分を盛り上げるためにしている工夫	6
-家族にとってのキッチン空間とは	7
<b>4. 子育て世代の料理意識・実態</b>	
-平日（夜）の料理意識・実態	8
-休日の料理意識・実態	9
<b>5. 子育て世代のニューノーマルな生活意識</b>	
-変化した生活の仕方と自宅への意識	10
-ニューノーマルな暮らしへの思い	11
<b>6. まとめ</b>	12

クリナップは日本で初めてシステムキッチンを製造、販売したキッチンメーカーとして、キッチンにまつわる生活者の実態調査を継続的に実施しています。

これまでの調査で若年層の料理に対するモチベーションがわずかに高まっている様子が確認されました。そこで今年度は30~40代子育て世代を中心に、キッチン空間に対する過ごし方や意識について分析した結果の一部を“キッチン白書”として公開します。

クリナップは「家族の笑顔を創ります」という企業理念の下で、もっと食を、家族を、暮らしを、深く知り、考えていくために「食、物、空間」をテーマに様々な切り口で調査しています。調査の結果から見てきた生活者の“いま”をキッチン白書として2017年から公開しています。



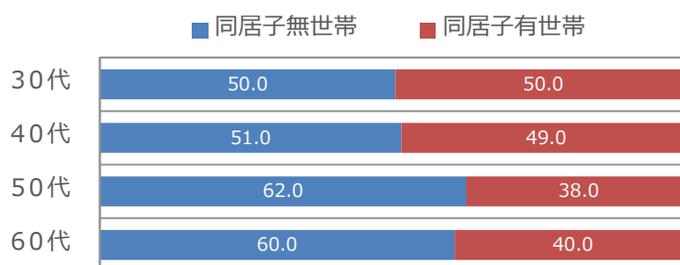
## 2. 調査概要



実施期間 : 2021年1月8日~13日

調査対象 : 同居家族がいる30~60代の既婚女性、全国、フルタイム共働き世帯のみ対象

### 年代別同居の子どもの有無比



回収数 : 400名 (年代均等割付)

調査方法 : インターネットによるアンケート調査

※自由記述式の回答については以下の調査結果を引用

実施期間 : 2020年8月20日~9月17日

調査対象 : 30-40代女性 / 1都3県、および、大都市圏 (100万人以上都市※)、同居している配偶者 (パートナー) がいる (事実婚可)

回収数 : 15名

株式会社リサーチ・アンド・イノベーション協力のもと実施

### 3. 子育て世代のキッチン空間



#### ーあなたにとってキッチン空間とは

▶ 子育て世代にとってキッチン空間とは、料理を作る場所であり、滞在時間が長い場所であり、居心地が良い癒しの空間であるなど、様々な思いがあることがうかがえました。

Q.お宅にとって「キッチンやその周辺の空間」は、どんな空間ですか。どのようなことでも構わないので、思いついたことを率直に教えてください。（自由記述）

ご飯を作る場所。料理は好きなのでこれからやるぞ！といった気分になる。

#### 料理を作る場所

面倒くさい調理などの家事をしなければならない場所。

料理が好きなので、楽しい場所。何を作ろうか食べようかと考えるのも楽しいし、暇だついでにキッチンに立ってしまう。

過ごす時間がリビングの次に多い場所。なるべく居心地の良い空間にしたいと思っている。

#### 滞在する時間が長い場

料理が苦手で手際が悪いが、嫌いではなく作る意欲はあるので、滞在時間が長くなる。

家族の健康を守る場所。休日も一番多くの時間を過ごす。



愛着ある空間。猫もよく来るし癒しの場所。

#### 居心地が良い癒しの空間

趣味の環境です。パンやお菓子などを作る時間が至福の時間です。

自分の好きなものが詰まった場所。お気に入りの調理器具や雑貨を並べているので、とても居心地が良く好きな場所である。

### 3. 子育て世代のキッチン空間

#### －気分を盛り上げるためにしている工夫とは

➤ そんなキッチン空間への思いに対し、**お気に入りの物を飾ったり、一人で、あるいは家族とお気に入りの過ごし方をする**ことなどで**気分を盛り上げている**様子もうかがえ、料理をするという機能的なことだけではなく、**気持ちを支えることもキッチン空間には求められている**のかもしれません。

Q.お宅にとって「キッチンやその周辺の空間」は、どんな空間ですか。どのようなことでも構わないので、思いついたことを率直に教えてください。（自由記述）

一目で気に入って購入した北欧風キッチンツール。ママ友にも褒められ料理は苦手なので、**見る度テンションが上がり助かっている。**

育てた植物や買った花、ぬいぐるみを飾る。家族全員がLDKでずっと過ごすから、**キッチンは私のテリトリー。**

#### 私の、お気に入りの飾る

「飾る」ことで大切であることを表現し、気分を上げたり、癒されたりしている様子

いつも居る、人も来るLDKのキッチン窓辺に**木の風合いが素敵な豆引き、ペッパーミルなどを並べインテリア風に**。車メーカー製でひき具合は素晴らしく、家族と私のお気に入り。

レンジフードの平らな部分に、お札やフィギアなど大切な物を置いている。



休日は作り置きのためキッチン滞在時間が長いですが、対面なので、テレビを見たり、夫と会話ができる。

料理・家事の時にタブレットを使う。持ち運びが容易で、2階ベランダにも持って行く。**ラジオ番組を聞きながらだと、はかどるし楽しくなる。**



#### 私の、お気に入りの過ごし方

過ごし方を工夫することで気分を上げている様子

平日は夕食を作りながら、子どもに隠れてスナックやチーズを食べアルコールを飲んでます。仕事の自分へのご褒美です。

#### 家族一緒の、お気に入りの過ごし方

一緒に過ごすことで、気分を上げている様子

夫は料理はできないが、サラダの準備や料理の補助を一緒にしてくれ**私と料理を楽しむ場所がキッチン。**

最近は人と会えず、**休日は子供とホットケーキ作り**。キッチンが広くなったので並んでできて良い。

### 3. 子育て世代のキッチン空間



#### －家族にとってのキッチン空間とは

- 一方、キッチン空間が**家族の物の置き場所**になってしまい、**困っている**様子もうかがえます。
- 「**キッチン**は家族で使う物を気軽に置きたい」という気持ちに共感する人の割合は全体では3割半程度なのに対し、子育て世代では4割以上と高く、**キッチン周辺を共有の場として活用したい**という意向も大きいようです。

Q.「キッチンやその周辺の空間」について、普段、あなたやご家族が【困っていること】とその理由を、具体的に教えてください。（自由記述）

夫の私物、郵便物、学校からの手紙類を置いてしまう。そういうものがどんどん溜まり、結果**キッチンがごちゃごちゃ**する。

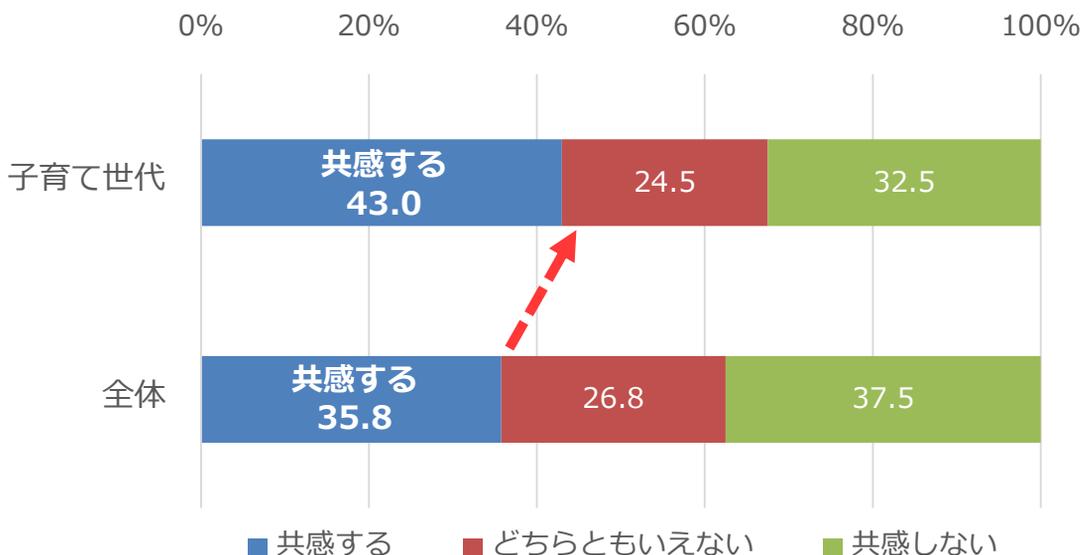
アイランドキッチンの上に荷物を置きがち。

リビングの収納に入りきらない**子供達のおもちゃ**がキッチンに。見た目がすっきりせず、もやもやする。

キッチン前のカウンターで、お茶や作業をしたいのに、洗濯物や書類が山のようで活用できない。

「キッチンやその周辺」に関する気持ちや考えについて、あなたはどの程度共感しますか。

「**キッチン**は家族で使う物や、他にちょうどよい置き場所がない物でも自由に、気軽に置ける場所にしたい」



#### 4. 子育て世代の料理意識・実態



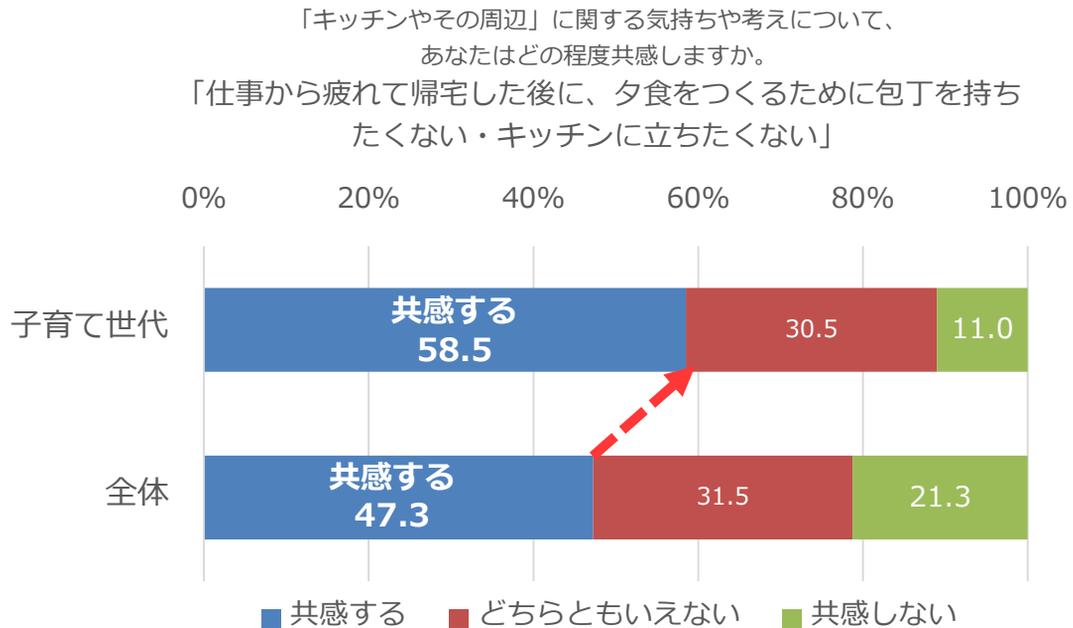
##### －平日（夜）の料理意識・実態

###### ➤ 帰宅後の食事の準備が大変

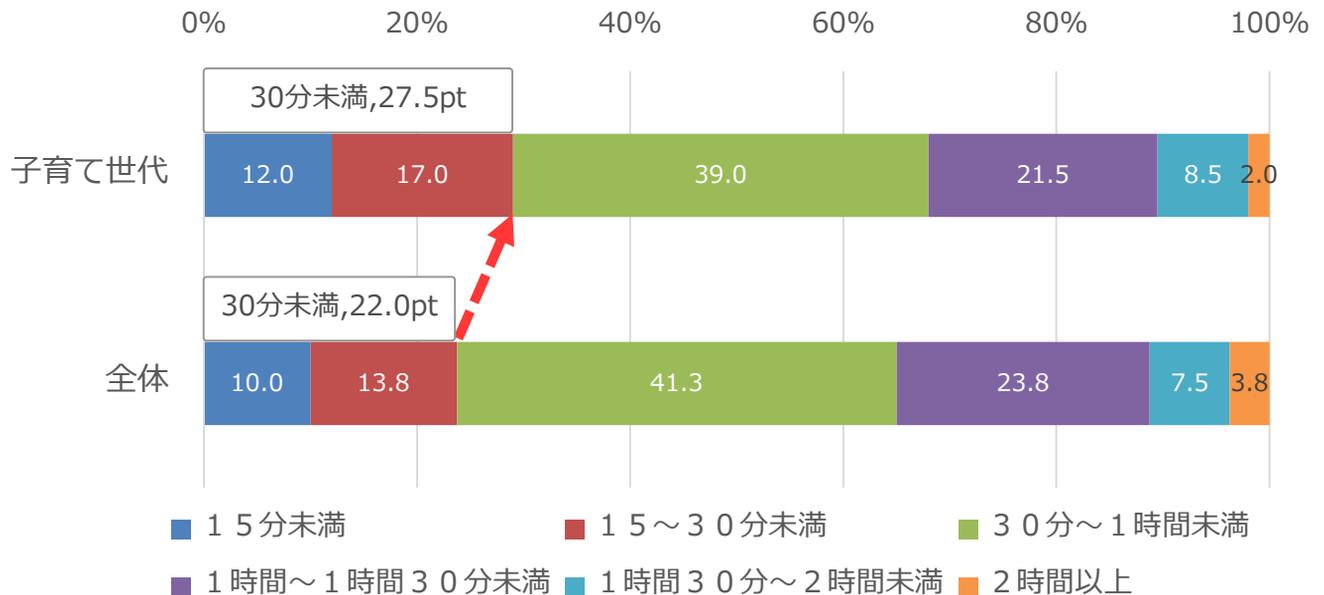
「仕事から疲れて帰宅した後、夕食をつくるためにキッチンに立ちたくない」という思いに共感する人の割合が全体では5割以下なのに対し、子育て世代では6割程度と高まり、やはり帰宅後の食事の準備が大変な様子が見えます。

###### ➤ 平日夜はキッチン滞在時間も短い

また、平日夜のキッチン周辺の滞在時間が30分未満の人の割合が全体では2割程度なのに対し、子育て世代では3割近くとやや高くなります。気持ちだけでなく実態としてもキッチン滞在時間が短く、**効率をより重視している**のかもしれませんが。



###### 平日夜のキッチン周辺滞在時間



## 4. 子育て世代の料理意識・実態



### －休日の料理意識・実態

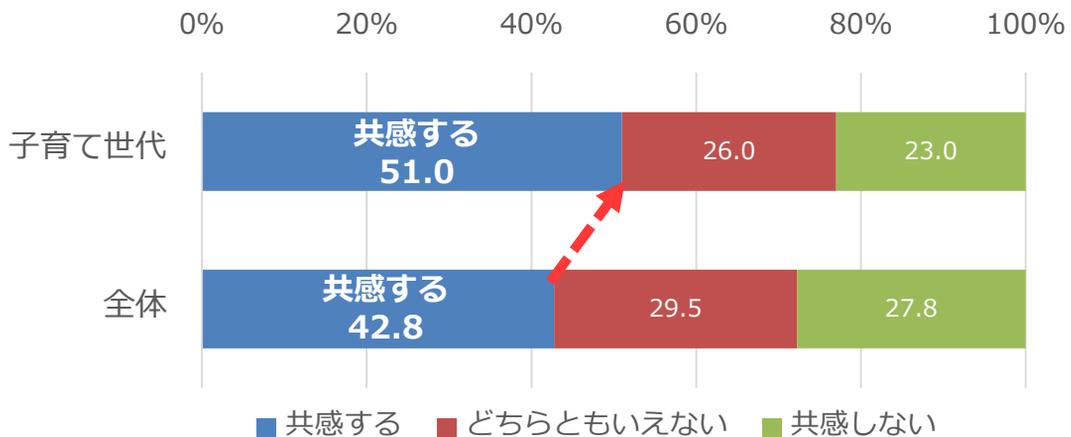
#### ➤ 料理イベントでリフレッシュ

「外出しなくても、自宅でバーベキューやピザ作りなどをして、リフレッシュしたい」という考え方に共感する人の割合が全体で4割程度なのに対し、子育て世代では5割程度と、高くなります。

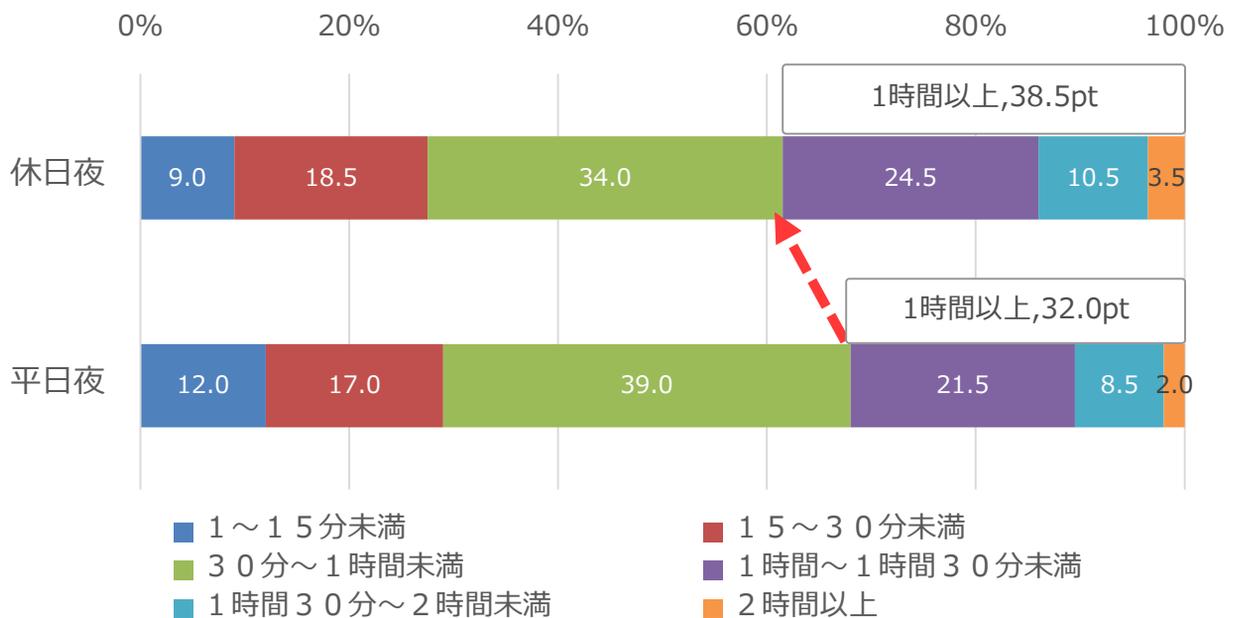
#### ➤ 休日はキッチン滞在時間の長い人が増加

また、子育て世代のキッチン周辺滞在時間を平日と休日と比較すると、平日は1時間以上滞在している人の割合が3割程度なのに対し、**休日は4割程度となり、滞在時間が長い人の割合が高くなっている**ことがわかります。平日は効率重視でも**休日は家族と楽しめるような料理でリフレッシュしたい**ののかもしれません。

「キッチンやその周辺」に関する気持ちや考えについて、  
あなたはどの程度共感しますか。  
「外出しなくても、自宅でバーベキューやピザ作りなどをして、  
リフレッシュしたい」



子育て世代のキッチン周辺滞在時間



## 5. 子育て世代のニューノーマルな生活意識



### ー変化した生活の仕方と自宅への意識

#### ➤ 在宅時間を楽しむ

生活の仕方が変化し、自炊機会が増え、趣味や晩酌を楽しんだりと**在宅時間を楽しんでいる**様子が見えがえます。

#### ➤ 家の中を整えて変化にポジティブに対応

家の中の換気の良さへの関心と共に、庭先で家庭菜園をしたり、広いキッチンを設置するなど快適に過ごせることが自宅に求められているようです。**家の中を整えることでポジティブに変化に対応しようとしている**のかもしれませんが。

### 新型コロナウイルス感染症の流行を経験し、変化した生活の仕方

在宅の日は、**時間に余裕があり**、お昼休みに軽い運動をしたり、夫と近所のラーメン屋に行って久々デートもできた。

#### 在宅時間・自炊 機会の増加

料理が大の苦手だったが、**自炊を機にレシピサイトを見ながらチャレンジ**。かなりレパートリーが増えた。思っていたより簡単でやってみてよかった。今後も活かしていきたい。



#### 趣味や晩酌を 楽しむ機会の増加

夫は飲み会がなくなった分趣味の短距離走を極めるべく河原などを走っている。

休校・休園があり毎食の用意が大変だった。夫婦とも家では飲まなかったが、**休日夕飯に息抜きに夫と晩酌**。意外と楽しい。

夫は飲みも減り、3食一緒に食べている。私は仕事にも行けずで気が抜け、**毎日夫と晩酌**している。

### 新型コロナウイルス感染症の流行を経験し、自宅に求めるようになったこと

ウイルスや菌に対する恐怖感が高まっているので、**空調設備を改善**したい。

#### 換気の良さ

ウイルス対策に24時間換気システムはいいなと思った。

おうち時間を楽しめるよう空間を整えたい。エアコンをつけっぱなしでも**換気できる設備があると安心して過ごせる**と思う。

家族を守りつつ**適度に心を休める様な空間**にしたい。この生活様式は続くと思う。

庭で自家製野菜を育てたら、料理にもやる気が出て、キッチン時間がより楽しくなりそう。



パン作り、お菓子作りをしやすくするために流し台や作業台の広いキッチンがあるといいと思う。

#### 綺麗・快適を 保つこと

ベランダや庭にお酒が飲めるスペースを作れたらと思う。**アウトドア雰囲気を楽しみたい**。

#### 庭・ベランダの 活用

広い庭があり、バーベキューやガーデニングが楽しめたりするとよさそう。

家にいることが長くなったので、**綺麗にしておきたい**という思いが増えた。

広い開放感のあるキッチンやリビングがあれば快適に過ごせそうだと思います。

## 5. 子育て世代のニューノーマルな生活意識



### ーニューノーマルな暮らしへの思い

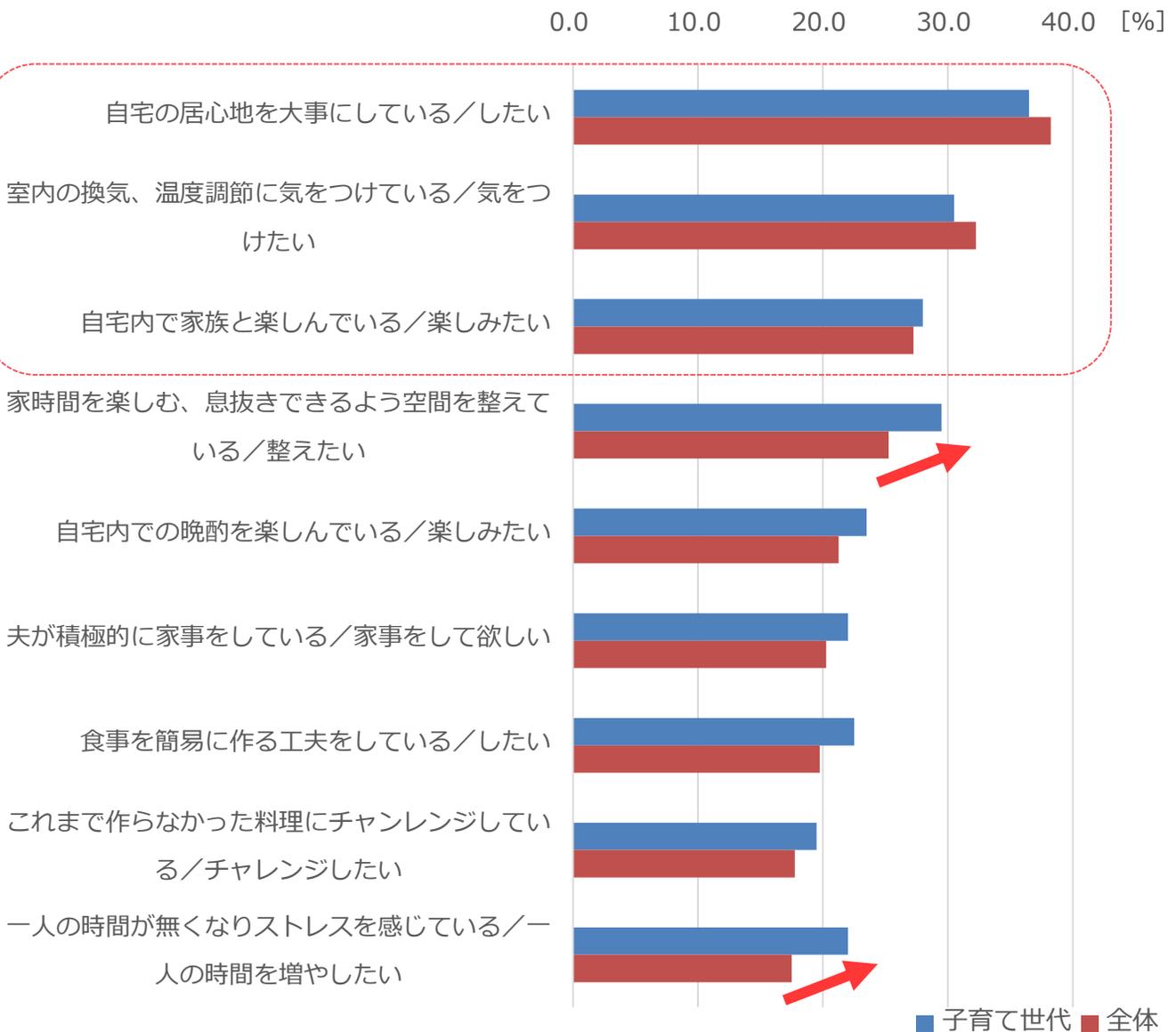
#### ➤ 自宅内の環境を整え、楽しむことは続けたい

全体では、今後も続くと思われる行動の上位に「自宅の居心地を大事にしている／したい」「室内の換気に気をつけている／気をつけたい」「自宅内で家族と楽しんでいる／楽しみたい」と並び、**自宅の居心地の良さや室内換気の良さなど、自宅内の環境を整え楽しむ**項目があげられています。

#### ➤ 子育て世代にとっては一人時間が無いことがストレス

一方、子育て世代では「家時間を楽しむ、息抜きできるような空間を整えたい」「一人の時間が無くなりストレスを感じている／一人の時間を増やしたい」が全体よりやや高くなっていることから、**家族のために家ナカを楽しみつつも、一人時間が無いことでストレスを感じている**様子もうかがえます。

新型コロナウイルス感染症の流行を経験して、自身や家族が自宅や暮らしに求めるようになったことのうち、この流行が終息した後も続くと思うこと



### 【ポイント】

- ニューノーマルな暮らしでは、家ナカを楽しむ工夫として、料理を楽しむことは今後も続けたい
- キッチン空間が癒しや気分転換の場所になっている
- 料理の気分を盛り上げるため、キッチン空間でのお気に入りの過ごし方がある

## - 子育て世代が求めるキッチン空間

ニューノーマルな暮らしとして、家の中を整えたり、晩酌を楽しんだり、子供と一緒に料理で気分転換したりと、家ナカを楽しむ工夫をしている一方で、一人時間を増やしたいとストレスを感じている様子もみえてきました。子育て世代には、**癒しや気分転換の要素もキッチン空間に必要な**のかもしれません。

また共働き世帯の増加に伴い、料理の短時間化・外部化が進んでいる様子がこれまでの調査から見受けられましたが、更に今回の調査では、子育て世代には平日夜の料理が特に大変であることが分かりました。しかしながら、気分を盛り上げるためにお気に入りの物をキッチンに飾っていたり、休日に家族と楽しめるようなイベント性のある料理でリフレッシュしていたりと、**キッチン空間でお気に入りの過ごし方**をしている様子。

**“キッチン”は料理をすることだけでなく、気持ちを支えるという面などでも、更にお役にたてる要素がある**かもしれません。

### - これからのクリナップ

子育て世代に向けたキッチン空間は、平日と休日の使い方や、「家族との過ごし方（家族）」と「家族それぞれの一人時間（個人）」の両立がキーワードとなりそうです。

ニューノーマルな暮らしで関心が高まる換気についてはキッチンレンジフードの活用などメーカーとしてしっかりお伝えしつつ、もっと家族が楽しく快適に過ごせるようなキッチン空間づくりを考えていきます。

キッチンからより豊かな暮らしの提供ができるよう、調査から得られた傾向も踏まえながら、今後の商品開発やお客様へのより良いサービスの提供を行ってまいります。



おいしい暮らし研究所®は、生活者の食や暮らしに関する情報の収集、調査・分析を行っているクリナップの研究部門です。

料理を作るキッチンだけではなく、作った料理を“おいしく楽しく食べられるような空間“作りも意識しながら調査を実施し、継続的にキッチン白書の充実を図ってまいります。

<本書に関するお問い合わせ先>

クリナップ株式会社 広報・ブランド推進課 E-mail : [inq@cleanup.jp](mailto:inq@cleanup.jp)  
過去のキッチン白書については… <https://cleanup.jp/oikura/kitchen-hakusyo/>

**※本書原稿及び記載データの無断転載を禁じます**